



第14回常任理事会

- 日 時** 平成18年10月10日（火）18：30～20：00
- 場 所** 北海道医師会館9階・理事会室
- 出席者** 飯塚会長、長瀬・赤倉各副会長、柳内・三宅・榊山・浜上・山本・宮本・北野・三戸・小山・目黒・原田・藤井各常任理事、野中・澤田・高木各監事
（事務局：河村事務局長ほか12名）

報告事項

1. **医療安全研修会[8月24日（木）北見市他、3件]について（山本常任理事）**
損保ジャパンリスクマネジメントの講師2名を迎え、ワークショップ形式により、北見市(8/24)・富良野市(9/13)・釧路市(10/3)の計3回開催。模擬のインシデントレポートに基づき、原因分析・背景要因分析から改善策を立案し、最後に検討結果発表とまとめが行われた。
2. **産業保健活動に関する打合せ[8月31日（木）旭川市、9月20日（水）苫小牧市]について（小山常任理事）**
旭川市は8月31日、産業保健担当役員、旭川労働基準監督署長が出席、苫小牧市は9月20日、地元会長、産業保健担当役員、苫小牧労働基準監督署長が出席のもと、産業保健活動事業につき打合せを行った。産業医活動（契約）が半数にも満たないという現実問題から産業医活動の理念を実現させることとし、産業医の活動が正当に評価される形の一つとして三者契約を行い、望ましい産業医のあり方について、活発な意見交換

を行った。

3. **第1回医療政策等検討委員会[10月1日（日）]について（赤倉副会長）**
日医常任理事でもある中川委員長（医療政策部長）が、「小泉政権における医療政策の総括」について話題提供した後、地域における医師の充足状況について各委員に意見を求めた。委員からは小児科、産婦人科医の不足、自治体病院勤務医の過剰労働、小児および夜間救急医療に支障をきたしている状況、新医師臨床研修医制度の弊害などの意見が出た。
4. **第115回日本医師会臨時代議員会[10月7日（土）]について（長瀬・赤倉各副会長）**
唐澤会長の挨拶、宝住副会長の会務報告に続き、代表質問（6件）、個人質問（17件）があり、執行部役員から答弁があった。当ブロックでは、城代議員から「介護保険法および障害者自立支援法に基づく認定審査のあり方について」の代表質問を、河西代議員から「医療における消費税について」、西池代議員から「有床診療所の存続について」の個人質問を行った。議案審議では、平成17年度決算ならびに平成18年度補正予算など7案件につき、理事者提案どおり可決決定した。
5. **日医各委員会報告**
 - (1) **救急災害医療対策委員会[9月29日（金）]について（目黒常任理事）**
会長諮問「わが国における救急災害医療のあり方について」のフリートーキングを行い、その後、ドクターヘリの法制化に当たり検討すべき事項について協議した。
 - (2) **労災・自賠責委員会[10月4日（水）]について（目黒常任理事）**
「労災独自の診療報酬体系の構築」、「労災かくしの問題」、「自賠責の健康保険使用問題」などについて、フリーにディスカッションを行った。
 - (3) **公衆衛生委員会[10月4日（水）]について（山本常任理事）**
健診・保健指導における医師会の役割について意見交換を行った。
6. **中央情勢報告（山本常任理事）**
年金事業の状況および社会保険庁完全民営化方針、医療関連死モデル事業、看護師

不足問題、医師臨床研修制度マッチング状況、高齢者医療制度等について解説した。

7. その他

(1) 会員数について（宮本常任理事）

平成18年9月30日現在の会員数は8,415名で、前回報告時(平成18年6月30日現在)より7名の増となっている。

(2) 日医・唐澤会長テレビ出演のご案内について（長瀬副会長）

NHK「日本の、これから『医療に安心できますか?』」に日医・唐澤会長が出演する。放送日時は次のとおり。

第1部:10月14日(土)19時30分～20時45分
第2部: " 21時～22時29分

協議事項

第1号 平成18年度第2回郡市医師会長協議会の議題に関する件（宮本常任理事）

〈決定〉

11月12日(日)午前10時から北海道医師会館8階会議室で開催する標記会議の提出議題を決定。

第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（原田常任理事）

〈決定〉

申請のあった日医生涯教育講座51件、道医認定生涯教育講座41件、合計92件を承認する。

道総医協関連事項（赤倉副会長）

1. 地域保健専門委員会[9月28日(木)]について（長瀬副会長）

第15回常任理事会

日時 平成18年10月23日(月)18:30～19:57

場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 飯塚会長、赤倉・加藤各副会長、榊山・浜上・山本・宮本・北野・渡辺・三戸・目黒・原田・藤井各常任理事、澤田・高木各監事
(事務局:菊田事務局次長ほか10名)

報告事項

1. 第86回北海道医学大会総会・平成18年度北海道医師会賞贈呈式[9月30日(土)]について（渡辺常任理事）

9月30日(土)午後3時から札幌グランドホテルで開催した。参加者は156名。各科トピックス4題、続いて大阪大学大学院生命機能研究科免疫発生学・平野教授による特別講演「サイトカインシグナルから亜鉛シグナル研究へ:免疫アレルギー・発生・がん研究の橋渡し」、その後、北海道医師会賞・北海道知事賞の贈呈式、受賞者祝賀会が行われた。

2. 日医生涯教育講座「第5回BLS・気道確保とAED」[10月8日(日)]について

(渡辺常任理事)

標記講座を当会館で開講し、受講者41名を6グループに分けて行った。札医大・浅井教授の挨拶、同大・今泉助教授よりBLSおよびAEDの概説が行われた後、引き続いて各講師の指導により、気道確保・挿管、モニター・除細動などの実習が行われた。11月に今回の参加者を含めた既受講者を対象に、救急医療部においてACLS講習会を開催する予定である。

3. 医療経済フォーラムジャパン主催「第5回公開シンポジウム」[10月12日(木)]について（山本常任理事）

「小泉政権の医療政策」をメインテーマに、その検証と今後の方向について論議が行われた。衆議院議員・鴨下一郎氏、「社会保障の在り方に関する懇談会」座長・早稲田大学特任教授・宮島洋氏が基調講演をした後、医事評論家の水野肇氏を座長に、日本医師会・竹島康弘副会長ら6名のシンポジストとともに、医療財源を巡って意見を交わした。鴨下議員は、2008年度の財源確保のため、薬価に言及しなければならない窮状を示した。シンポジストからは消費税値上げ、混合診療導入やむなしの意見も出た。日医・竹嶋副会長は、「社会保障にお金はかけられないのか」という患者・国民の心情を訴えた。

4. 第2回学校保健推進委員会[10月14日(土)]について（三戸常任理事）

日医学校保健委員会諮問「生涯保健と学校保健」について出席委員と意見交換を行った後、地元函館市の学校保健活動について、山田委員より報告を受けた。

5. 第55回北海道学校保健研究大会[10月15日(日)]について（三戸常任理事）

函館市民会館ほか1会場で開催され、開会式後に行われた学校保健功労者表彰式では、学校医24名、学校歯科医37名、学校薬剤師30名、教職員13名、団体1件が表彰された。

6. 第1回健康スポーツ医学推進委員会[10月21日(土)]について(榊山常任理事)

日医会長諮問事項「地域における健康スポーツ医活動の推進—特定健診・保健指導における健康スポーツ医の役割を中心として—」について、畑委員長から第1回、第2回の日医委員会報告の後、この件につき討議した。

7. 第13回日医認定健康スポーツ医制度再研修会[10月21日(土)]について

(榊山常任理事)

札幌全日空ホテルにおいて開催。講師の東京大学大学院身体教育学講座・武藤芳照教授からは「運動器の10年～運動の推進をめざして～」と題した講演を、札幌医科大学医学部麻酔科・中山雅康講師からは「一次救命処置と自動体外式除細動器」と題した講演が行われた。

8. 第3回医業経営・福利厚生事業等検討委員会[10月21日(土)]について

(北野常任理事)

グループ保険制度見直しの3回目の委員会で、前回委員会から継続審議となっていた「委託会社と協定書」「新規保険商品」「新規加入者獲得戦略」について審議を行った。以上で審議を終え、来年1月20日開催の委員会で答申書をまとめる予定である。

9. 第41回糖尿病学の進歩市民公開講座[10月22日(日)]について(三戸常任理事)

旭川市大雪クリスタルホール国際会議場大会議室にて開催され、会長の代理として主催者挨拶を代読してきた。約180名の参加があった。

10. 日医各委員会報告

(1) 地域医療対策委員会[9月29日(金)]について(加藤副会長)

本委員会では、唐澤会長からの「地域医療提供体制の今後と医師会の役割」をテーマとした諮問について検討している。今回、地域医療に関するアンケート調査について各地域の委員から報告・提言があり、その後「新医師確保総合対策」について審議された。また、日医による

医師確保対策として、かかりつけ医機能の充実、勤務医の環境改善、臨床研修制度の見直し、医師会活動の強化をキーワードとしたタタキ台案が示され、活発な意見が交わされた。

(2) 生涯教育推進委員会[10月5日(木)]について(渡辺常任理事)

当委員会の現状として、新医師臨床研修制度のもと実施している指導医のための教育ワークショップを今後も続けていくこととしているが、同制度についての検討が他の委員会(地域医療対策委員会)でなされており、その結果による影響が考えられる。また、かかりつけ医の問題については、規制改革・民間開放推進会議の答申の中で、専門医制度と医師免許を含めた総合的な視点から医師資格制度のあり方について改善を図るべきという項目があり、これに対する日医の方針次第で当委員会の検討する方向も変わっていく可能性も考えられ、いずれも経過を見ながら進めているという状況である。

11. 中央情勢報告(赤倉副会長)

医療制度改革法案の初期段階から成立への流れ、特定健診等の予防医学の経済性、健康日本21中間報告書(案)について解説した。

12. 外部各委員会報告

(1) 第1回ドクターヘリ運航調整委員会事後検証部会[10月16日(月)]について

(目黒常任理事)

本部会委員の変更を報告後、2005年度ドクターヘリ運航実績報告書(案)について協議を行った。

13. 各部報告

(1) 療養病床の再編に関する調査結果について(原田常任理事)

8月下旬から9月上旬にかけて、北海道病院協会と連携して、療養病床の再編に関するアンケート調査を行った。当会は有床診療所133施設に対し実施。その結果、75施設より回答があり、回収率は56.4%であった。内容については北海道医報次号へ掲載予定である。また、11月開催予定の北海道病院協会・全日本病院協会北海道支部共催のシンポジウムにおいて、調査結果について説明を行う予定

である。

協議事項

第1号 母体保護法医師指定に関する件 (宮本常任理事)

〈決定〉

10月18日開催の審査委員会の決定事項である、(1) 指定「可」とされた新規6名、再審2名の申請者を指定医師とすること、(2) 施設設備変更1件の申請を承認すること、(3) 2年に一度の指定医更新については、申請者262名のうち更新「可」とされた258名を指定医師とすること、ただし所定研修の受講回数が不足している医師4名は、それを満たした段階で更新を認めること、(4) 指定医師の研修機関については、指定要件を満たした40件を指定すること、以上を承認する。

第2号 学校・地域保健連携推進事業連絡協議会委員・性教育調査研究委員会委員の推薦に関する件 (宮本常任理事)

〈決定〉

浜上常任理事を推薦する。

第3号 平成18年度看護職員確保検討会委員の推薦に関する件 (宮本常任理事)

〈決定〉

三宅常任理事を推薦する。

第4号 日本医師会認定産業医の認定申請に関する件 (北野常任理事)

〈決定〉

認定要件を満たした更新95名の申請を承認。日医へ推薦する。

第5号 日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件 (北野常任理事)

〈決定〉

認定要件を満たした更新22名の申請を承認。日医へ推薦する。

第6号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件 (渡辺常任理事)

〈決定〉

申請のあった日医生涯教育講座47件、道医認定生涯教育講座44件、合計91件を承認する。

第7号 その他

(1) 11月行事予定に関する件 (事務局)

〈決定〉

提案どおり承認決定。

(2) 平成18年度各会計9月末現計に関する件 (浜上常任理事)

本年度会計半期分の現計について報告した。

計 報

10月13日	旭川市会員	橘秀光氏御母堂ユリコ様
10月15日	旭川市会員	太田丞一氏御母堂光枝様
10月24日	札幌市会員	千坂孝司氏御母堂幸子様
10月26日	函館市会員	成田昌裕氏 (49歳)
10月26日	三笠市会員	續博氏 (83歳)
10月28日	小樽市会員	松島久氏御母堂裕子様
10月30日	釧路国会員	麻生國雄氏御母堂志嘉子様
10月31日	旭川市会員	岡本美穂氏御尊父博様
11月 2日	渡島会員	向醇氏御子息信久様
11月 9日	札幌市会員	平根敏光氏 (52歳)
11月 9日	苫小牧市会員	久田次夫氏 (83歳)
11月10日	札幌市会員	濱田朋倫氏御尊父豊様
11月13日	札幌市会員	曾根崎日吉氏 (82歳)

謹んでご冥福をお祈りいたします